

## 第6学年 総合単元的な道徳学習指導案

平成28年 2月 8日(月) 5校時  
2組 男子11名女子16名計27名  
指 導 者 江 崎 紘 平

### 1 総合単元名 自分をみがいて

【中心項目】1－(1)生活習慣, 思慮・反省, 節度・節制

【関連項目】4－(4)勤労, 社会奉仕, 公共心

### 2 総合単元の目標

自分を見つめ, 課題を発見し, よりよい課題解決の方法を考え, 選択するとともに, 今後の自分の成長のために, よりよく生きようとする前向きな気持ちを育てる。

### 3 総合単元について

本校では, キャリア教育目標「人や社会とのかかわりを大切にしながら, 自分の夢や希望に向かって, よりよく生きようとする態度の育成」を掲げ, 4つの基礎的・汎用的能力の中から, 本校の実態に合わせて, 特に課題対応能力(考える力), キャリアプランニング能力(みとおす力)に重点を置いて指導してきている。

これまでの自分を見つめ, よりよく生きようとする子どもを育むために, 道徳の時間においては, 自分のよさや課題について考え, 自己理解を深める中でさらに成長していこうとする態度の育成を図ってきた。また年間の常時活動である係・委員会活動やみどり運動では, 決められた仕事をただこなすだけでなく, 自分にできる役割を見出して行動しようとする姿も見られるようになってきた。

これらの活動を通して, 子どもたちは, 様々な課題にぶつかりながらも, よりよい解決方法を考え, 実行することで, 人のために役立つ喜びを感じ, 自己有用感を少しずつ高めてきている。

しかし, 卒業が近づき, 自分の将来や新たな舞台に目を向けると同時に, 自分自身に自信がもてなかったり, 夢や現実の違いを意識したりする児童も多い。そこで, これまでの自分を振り返る中で見えてきた課題を主体的に解決しようとし, 更に自分を高めようとする心情を育てたいと考え, 本単元を設定した。

まず, 学級活動「長縄エイトマン」では, これまでの記録をさらに更新するために, どのような気持ちや練習が必要かを考えさせ, 目標達成への意欲を高めていきたい。次に, 家庭科「わたしたちの生活と地域」では, 生活と環境とのかかわりを自分の問題として捉えさせ, みんなが気持ちよく生活するために自分に何ができるかを地球環境や共に生きる人に配慮した視点から考え, 実践させたい。

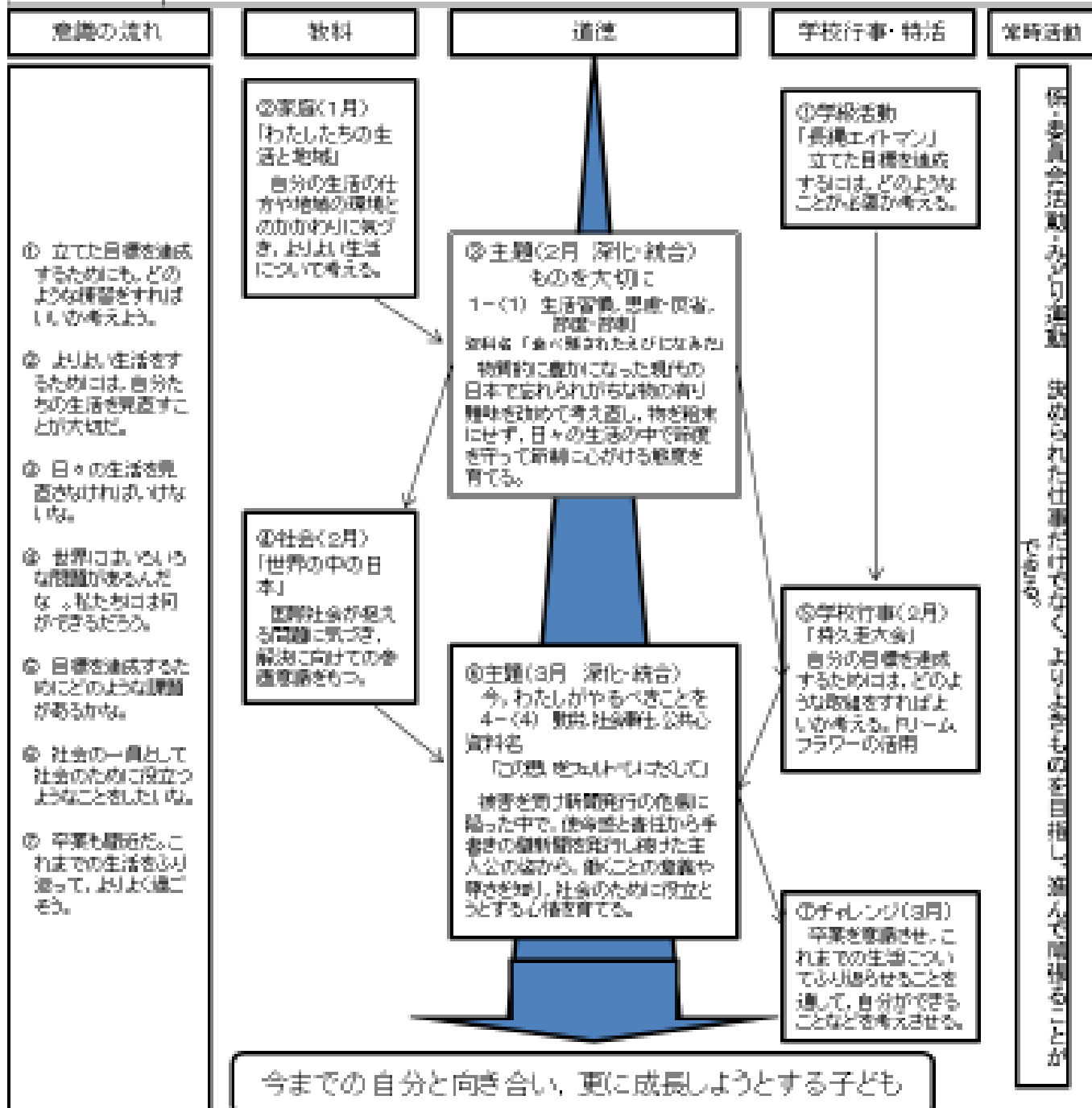
また, 道徳の時間「ものを大切に」では, 自分の生活を振り返りながら, 節度のある生活をするとは, 自己を確立していくうえで大切なことに気付かせ, ものや食べ物を大切にすることは, 自分自身を大切にすることにもつながるということを改めて確認していきたい。そして, 社会「世界の中の日本」の時間では, 国際社会が抱える問題に気づき, 解決に向けての参画意識をもたせるようにしたい。

さらに, 学校行事「持久走大会」では, ドリームフラワーを活用して, 個々の目標を立てさせ, 目標を達成するために必要なスキルを考え, 実行させたい。また, 道徳の時間「今, わたしがやるべきことを」では, 困難な状況の中でも自分がやるべきことを自覚し, 試行錯誤しながらも責任をもって成し遂げることの大切さに気付かせ, よりよい生き方につなげていきたい。そして, 総合的な学習の時間(チャレンジ)では, 卒業を意識させ, これまでの生活について振り返るとともに, 今, 自分がすることは何かを考え, 自分をみがき, 自分の可能性を広げ, よりよく生きていこうとする意欲や態度をさらに高めるようにしていきたい。

4 単元構想図

第6学年 総合単元的な道徳学習の計画(3学期)

総合単元名	自分をめがけて (1月～3月中旬)	
目指す子ども	自分を見つめ、課題を発見し、よりよい課題解決の方法を考え、選択するとともに、今後の自分の成長のために、よりよく生きようとする前向きな気持ちを育てる。	【中心項目】 1- (1) 生活習慣、思慮・反省、節度・節制 【関連項目】 4- (4) 数社・社会献士・公共心 【キャリア教育指導事項】 ＜考える力＞ 課題を見つめ、それをよりよく解決する。
ねらい	これまでの自分振り返りの中で見えてきた課題を主体的に解決しようとし、更に自分をめがけようとする心情を育てる。	
単元設定の理由	卒業が近づき、自分の将来や中学校という新たな舞台に目を輝かす子どもが多くなる時期である。それが同時に、自信がもてなかったり、夢と現実の違いを意識したりする時期でもある。そこで、これまでの自分振り返りの中で課題を主体し、よりよく解決することで自分をめがけ、可能性を広げていこうとする意欲を育てることをねらいとして、本単元を設定した。	



5 本時の学習

- (1) 主題名 ものを大切に 1－(1) 生活習慣, 思慮・反省, 節度・節制  
「食べ残されたえびになみだ」(出典「みんなの道徳 6年」)

(2) 主題について

ア 内容項目とその系統

低学年	【1－(1)】健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
中学年	【1－(1)】自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする。
高学年	【1－(1)】生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。

イ 指導内容についての基本的な立場

本主題の道徳的価値は、A「節度・節制」である。これは、主として自分自身に関することであり、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けることをねらいとしている。この内容項目は、B「相互理解, 寛容」や「感謝」とも関連があり、中学校の「望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。」へと発展していくものである。

この期の子どもは、基本的な生活習慣はほぼ身につけていることが期待される。そこで、そのような生活習慣は、わたしたちの日々の生活を維持していく上で大切なものであることに理解を深め、そのことをもとに、子ども一人一人が自分の生活をふり返り、改善すべき点などについて見直しながら、望ましい生活習慣を積極的に築くとともに、自ら節度を守り節制に心掛けられるように継続的に指導することが求められる。

また、基本的な生活習慣が身につく、節度のある生活ができることは、自分自身の土台や自己を確立していく上でも大切なことである。

そこで、本主題では自らのものに対する考え方を見つめ直し、子どもなりに社会の中で節度を守り、節制に心掛けるようにさせ、よりよく生きようとする心情を育てたい。

(3) 子どもの実態(調査日 平成28年1月20日 調査人数27人)

本学級の子どもたちの課題にぶつかったとき、自分なりに解決方法を見つけ出し解決しようと努力することにかかわる経験や実践を阻む心の弱さ、実践を支える見方・考え方・感じ方(意義・心構え)等についての認識は以下のとおりである。

① 困ったことがあるとき、どのようにして解決していますか。あてはまるものを選びなさい。(複数可)	
・ 自分の力で何とかする。(11人)	・ 親に相談する。(15人)
・ 友だちに相談する。(19人)	・ 先生に相談する。(3人)
・ あきらめる。考えないようにする。(6人)	
・ その他(ちょっと考える。がまんする。)	
② 今まで失敗した経験はありますか。それはどのような経験ですか。	
・ スポーツでミスした。(6人)	・ 発表会(ピアノなど)で間違えた。(3人)
・ 時間に遅れた。(3人)	・ 委員会の仕事を忘れた。(2人)
・ 大縄でひっかかった。(3人)	・ 計算ミスをした。(2人)
・ 忘れ物をした。(2人)	・ テストであきらめた。(1人)
・ 歌詞を間違えた。(1人)	・ 料理で塩を入れすぎた。(1人)
・ 鉄棒の失敗。(1人) など。	

③ 失敗したときにどんな気持ちでしたか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ くやしい。 (8人)</li> <li>・ まずい。 (5人)</li> <li>・ 次はがんばろう。 (3人)</li> <li>・ みんなに迷惑をかけた。(2人)</li> <li>・ しまった。どうしよう。(1人)</li> <li>・ リベンジしたい。 (1人) など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恥ずかしい。(5人)</li> <li>・ やばい。 (4人)</li> <li>・ もっと練習すればよかった。(2人)</li> <li>・ イライラした。(1人)</li> <li>・ 失礼だ。(1人)</li> </ul>
④ 同じ失敗をくり返さないためには、どうしたらいいと思いますか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習をたくさんする。(10人)</li> <li>・ 自主練習を多くする。(2人)</li> <li>・ 時間をよく見る。(2人)</li> <li>・ 失敗を忘れない。(1人)</li> <li>・ しっかり覚える。(1人)</li> <li>・ あきらめない。(1人)</li> <li>・ 自信をもつ。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 努力する。(5人)</li> <li>・ 委員会の仕事を忘れない。(2人)</li> <li>・ もっと勉強する。(2人)</li> <li>・ なぜ失敗したか考える。(1人)</li> <li>・ 頭にしっかり入れる。(1人)</li> <li>・ コツを教えてもらう。(1人)</li> <li>・ 先生の話をしっかり聞く。(1人)</li> </ul>

本単元に関する実態は以下の通りである。

① 給食を残したことはありますか。	
・ ある。(4人)	・ ない。(23人)
② 給食を減らしたことはありますか。	
・ ある。(16人)	・ ない。(11人)
③ 給食を残すのはなぜですか。(残さない人は、なぜだと思うか。)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嫌いなものがあるから。(16人)</li> <li>・ 食べきれないから。(5人)</li> <li>・ お腹がすいていないから。(2人)</li> <li>・ 時間がかかるから。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体調が悪いから。(8人)</li> <li>・ 食欲がないから。(2人)</li> <li>・ 食べたくないから。(1人)</li> </ul>
④ 残したことがある人は、残したときどう思いましたか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もったいないけど苦手。(6人)</li> <li>・ 嫌いだから仕方がない。(2人)</li> <li>・ 食べ物がかawaiiそう。(1人)</li> <li>・ もったいないけど、おかわりする人がその分を食べてくれるからいい。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作ってくれた人に失礼。(5人)</li> <li>・ ごめんなさい。(2人)</li> <li>・ 作った人がかawaiiそう。(1人)</li> </ul>
⑤ 残したものはどうなると思いますか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処分される。(15人)</li> <li>・ エサになる。(5人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生ごみになる。(8人)</li> <li>・ 肥料になる。(3人)</li> </ul>
⑥ ものを大切にしていますか。	
・ はい。(26人)	・ いいえ。(1人)
⑦ まだ使えそうなものが捨てられていたらどう思いますか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もったいない。(10人)</li> <li>・ 親が働いて買ってくれたのにもったいない。(2人)</li> <li>・ 最後まで使えばいいのに。(2人)</li> <li>・ お金の無駄。(1人)</li> <li>・ くやしい。(1人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役に立つのかかawaiiそう。(9人)</li> <li>・ 大切に使ってほしい。(2人)</li> <li>・ 悲しい。(1人)</li> <li>・ 贅沢だ。(1人)</li> </ul>

## 【考 察】

①から、困ったことがあったら、何とか解決しようとする子どもが多いことが分かる。解決方法としては「自分で解決する」だけでなく、「友達」や「親」、「先生」に相談するという子がいるなかあきらめてしまうという子も見られる。②から、ほとんどの子どもが失敗した経験をしていることが分かる。習い事での練習や日々の学習活動など、日常生活での経験が多い。また③から、失敗したときの気持ちとしては「くやしい」「次はがんばろう」「リベンジしたい」など前向きに考えている子どもがいる。しかし、そのような考えをもっているにもかかわらず、「恥ずかしい」「まずい」「みんなに迷惑をかけた」など周りの目を気にしている子どもが多い。また④から、同じ失敗をくり返さないための心構えとして「たくさん練習する」「努力する」「なぜ失敗したか考える」「友だちにコツを聞く」「自信をもつ」といった失敗と向き合い、よりよく解決しようとする様々な心構えをもっていることが分かる。

本單元に関する実態調査からは、給食を残したことがある子どもは少数だった。しかし、半数以上の子どもが最初で配膳された量より減らしてから食べ始めるため、結果として学級の残食がある状態になっている。また、残したときに後悔の気持ちはあるものの、「仕方がない」「他の人が食べてくれる」など作り手や食べ物への申し訳なさがあまり見られないという実態がわかった。

ものを大切にしているかどうかという質問に対しては、ほぼ全員が「はい」と答えた。しかし、学級の普段の様子を見ていると、落とし物が日々増え、呼びかけても持ち主が見つからなかったり、学習用具を乱雑に扱ったりしている姿が見られる。つまり、ものを大切にしているつもりでも、実際の行動としては表れていないということが分かった。

## (4) 資料について

### ア 資料の概要

タイからの留学生が、自国の国で、大事に育てられたえびが日本のパーティーで残されているのを見て涙する話である。

### 資料の分析・子どもの反応予想

場 面	主人公の意識	予想される子どもの反応
日本の大学に入るため日本に行く前日、父が日本人のために育てているえびの中で小さなものをもらった「わたし」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の息子にさえ、決して食べさせないほど、大事に育てたえびを食べることができる日本人とは、いったい、どういう人間なのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どうして大きいえびをくれないのだろう。</li> <li>日本人はぜいたくだな。</li> </ul>
日本で出席したパーティーで、終わった後にたくさん残されたえびを見た「わたし」	<ul style="list-style-type: none"> <li>一生懸命育てたのになんでこんなことするのだろう。</li> <li>悲しい。</li> <li>もったいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もったいないな。</li> <li>自分は残していないかな。</li> </ul>
「もの」が有り余って有難さがすっかり忘れられている今、日本の小学生に「もの」の大切さについて問いかける「わたし」	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの大事な地球を救うため、「もの」の大切さを真剣に考えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分は「もの」を大切に大切にできているだろうか。</li> </ul>

本資料は、タイ国の「わたし」が日本の大学に入るために来日し、そこで日本人の「もの」に対する有難味の薄れや「もの」を大切に扱うことに対して危機を感じる話である。日本の生

活を知るために、日本人の食べ物に対する考え方、感じ方を理解しようとする「わたし」は、日本に行く前日に、「それは日本人のために大事に育てたえび」だからと、小さなえびをもらい、日本人はどういう人間なのかと思う。そして、来日してからいろいろなパーティーに出席するのだが、そこでたくさん残されたえびを見て、なみだがこみ上げてくる。昔はどんなものでも大事にしていたはずなのに、「もの」の有難さを忘れてしまっている日本人に対して、「もの」の大切さについて真剣に考えて欲しいと願う。その「わたし」の思いを通して、「もの」を大切にすることの重要性を感じ取らせることができる。

(5) 指導にあたって (研究との関連)

事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長縄エイトマンで立てた目標を達成するには、どのような課題があり、どうすれば解決できるか話し合う。</li> <li>○ 家庭「わたしたちの生活と環境」で、自分の生活の仕方や地域の環境とのかかわりに気づき、よりよい生活について考える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【他教科・他領域との関連づけ】</p>
----	--



本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「気づく」過程では、実態調査結果を提示し、「ものを大切にするにはどのようなことが大切か」という問題意識をもたせたい。<p style="text-align: right;">【導入の工夫】</p></li> <li>○ 「とらえる」過程では、資料を読むときに共感できるところや疑問に思ったところに線を引かせるように指示することで、より深く資料について考えられるようにさせたい。また、場面の挿絵を掲示することで、視覚的にも流れをつかみやすくさせる。<p style="text-align: right;">【発問や板書の工夫】</p></li> <li>○ 「ふかめる」過程では、父のえびへの思いにふれた「わたし」の気持ち、日本で残されたえびを見たときの「わたし」の気持ちを捉えさせることによって、「わたし」が日本人に伝えたいことを考えさせるようにしたい。<p style="text-align: right;">【発問や板書の工夫】</p></li> <li>○ 「ふり返る・見通す」過程では、食べ物以外の身の回りのものについても目を向けさせ、自分たちがものを大切にできているかを考えさせたい。また、ものを大切にすることが地球を守ることにもつながることに気づかせ、これからの日常生活への実践意欲につなげたい。<p style="text-align: right;">【実践意欲を高める工夫】</p></li> </ul>
----	---





事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会「世界の中の日本」では、国際社会が抱える問題に気づき、解決に向けての参画意識をもつ。</li> <li>○ 学校行事「持久走大会」では、自分の目標を達成するためには、どのような取組をすればよいか考える。ドリームフラワーの活用。</li> <li>○ チャレンジでは、卒業を意識させ、これまでの生活をふり返らせることを通して、自分が学校のためにできることはないか考えさせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【他教科・他領域との関連づけ】</p>
----	--

(6) 本時

ア 目標

物質的に豊かになった現代の日本で忘れがちな物の有難味を改めて考え直し、物を粗末にせず、日々の生活の中で節度を守って節制に心掛ける態度を育てる。

イ 展開

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点 (●評価)
気づく	<p>1 アンケートの結果をもとに、自分たちの物への考え方をふり返る。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ものを大切にするにはどのような気持ちが必要だろうか。         </div> <p>3 資料「食べ残されたえびになみだ」を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 小さなえびをもらった「わたし」はどう思ったか。</p>	5	<p>○ 実態調査結果をもとに、食べ物や物に対してどのように感じているか気づかせ、問題意識をもたせる。</p> <p>○ 共感できたところ、疑問に思ったところを意識させながら資料を読ませる。</p> <p>○ 生活の糧としてえびを養殖している父の思い、そしてえびを食べている日本人にも触れ、「わたし」の気持ちを考えるようにする。</p>
とらえる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 僕も日本人になりたい。</li> <li>・ 日本人はそんなにえらいのか。</li> </ul> </div> <p>(2) 食べ残されたたくさんのえびを見てなみだがこみ上げた「わたし」はどんな気持ちだったか。</p>	25	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>● 父が一生懸命育てていたえびがたくさん残されていることを知った「わたし」の悲しみや怒りに気づくことができたか。(ワークシート)</p> </div>
ふかめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もったいない。</li> <li>・ 一生懸命育てたのになんてことするのだろう。</li> </ul> </div> <p>(3) 「わたし」は日本人に対してどのようなことが言いたいのか、考える。</p>		<p>○ 日本で捨てられる食糧が多いことだけでなく、世界には人口の5分の1の人々が飢えに苦しんでいることにも触れ、「わたし」の言いたいことについて考えられるようにする。</p>
ふり返る・見通	<p>4 ものを大切にするには、どのような気持ちが必要か考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ものを大切にするには、作ってくれた人への感謝の気持ちをもつことが大事である。         </div>	15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>● これまでの自分をふり返り、生活習慣、思慮・反省、節度・節制について考えられているか。(ワークシート)</p> </div> <p>○ 意図的指名を行い、これまでの自分を深く見つめられた子どもの思いや考えを紹介す</p>

す	5 これまでの自分をふり返り，これからの生活について考える。 6 教師の説話を聞く。		る。 ○ 食べ物以外の身の回りのものについても目を向けさせて考えさせる。
---	---	--	---



## 道徳に関するアンケート

6年2組 名前( )

① 給食を残したことがありますか。

ある

ない

② 給食を残すのはなぜですか。(残したことがない人は、なぜだと思うか。)

③ 残したことがある人は、残したときどう思いますか。

④ 残したものはどうなると思いますか。

⑤ ものを大切にしていますか。

はい

いいえ

⑥ まだ使えそうな物が捨てられていたらどう思いますか。